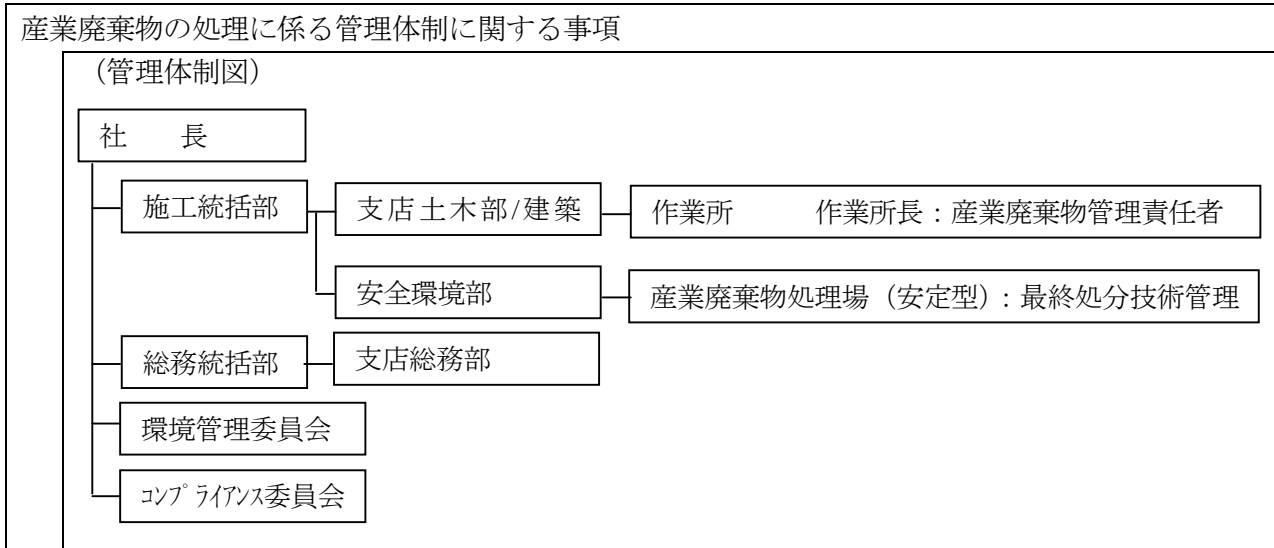


様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書						
24年 6月 13日						
愛知県知事 殿						
提出者 愛知県名古屋市中区千代田1-4-24 住所 吉川建設株式会社名古屋支店 氏名 執行役員支店長 長谷川 清志 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 052-262-0174						
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。						
事業場の名称	吉川建設株式会社名古屋支店					
事業場の所在地	愛知県名古屋市中区千代田1-4-24					
計画期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日					
当該事業場において現に行っている事業に関する事項						
①事業の種類	総合建設業					
②事業の規模	356000 万円					
③従業員数	48 名					
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<table border="1" style="width: 100%;"><tr><td style="text-align: center;">作業所 (産廃発生場所)</td></tr><tr><td style="text-align: center;">↓</td></tr><tr><td style="text-align: center;">収集運搬：委託</td></tr><tr><td style="text-align: center;">↓</td></tr><tr><td style="text-align: center;">処分委託：中間処理・最終処分</td></tr></table>	作業所 (産廃発生場所)	↓	収集運搬：委託	↓	処分委託：中間処理・最終処分
作業所 (産廃発生場所)						
↓						
収集運搬：委託						
↓						
処分委託：中間処理・最終処分						



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 23 年度）実績】※別紙添付資料		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) a) 余剰資材を発生させないための資材発注及び搬入管理 b) 梱包材及び養生材の減量化 c) 発生抑制のための工法採用 (打込み型枠、鋼製型枠等) d) 建設汚泥の脱水及び固化による減量化 e) 発生量、再生資源化量、処分量の把握		
②計画	【目標】※別紙添付資料		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 下記について、今後も積極的に取り組む a) 余剰資材を発生させないための資材発注及び搬入管理 b) 梱包材及び養生材の減量化 c) 発生抑制のための工法採用 (打込み型枠、鋼製型枠等) d) 建設汚泥の脱水及び固化による減量化 e) 発生量、再生資源化量、処分量の把握		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 23 年度）実績】 ※別紙添付資料		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	a) 委託先に対する事前調査の実施 b) 委託先に対する定期的な現況確認の実施 c) 収集運搬から処分に至るまでの確認及び確実な管理 d) 委託契約書及びマニフェストの徹底及び管理		

②計画	【目標】※別紙添付資料		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>a) 委託先に対する事前調査の実施</p> <p>b) 委託先に対する定期的な現況確認の実施</p> <p>c) 収集運搬から処分に至るまでの確認及び確実な管理</p> <p>d) 委託契約書及びマニフェストの徹底及び管理</p> <p>e) 社内での情報共有及び指導教育の徹底</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

